

7
2017
目次



四季想「小儿垂钓」…………… 1

企業最前線～経営者に聞く～⑥⑩
……………アルプス食品工業株式会社 2

創業者の波乱万丈の青春期を経て、昭和8年にジャム製造販売業を創業。昭和半ば、製パン業界の拡大による業務用ジャムの需要拡大で事業を拡大した。その後の業務用ジャムの需要減少に対応するために、デザート製品分野に新規参入し、ジャムで培われた技術をもとに開発、販売を行う。

2016年清涼飲料市場動向
……………本吉卓也 4

2016年の清涼飲料市場は生産量・販売金額とも過去最高を更新した。生産量は2年連続での過去最高記録の更新、販売金額は過去最高であった07年を超えた。主な要因として、熊本地震の影響、関東などでの長い残暑などがある。本稿では16年の主な出来事と分野別動向等を解説する。

平成28年度事業・技術功績者の横顔
……………日本缶詰びん詰レトルト食品協会 11

日本缶詰びん詰レトルト食品協会定時総会・
理事会の概要…………… 15

全国食品缶詰公正取引協議会理事会・定時
総会の経過…………… 18

2016年の缶詰輸入
—輸入量は前年並み、金額は減少—
……………日本缶詰びん詰レトルト食品協会 20

缶詰見聞・体感録 第78号
絵本の話……………黒川勇人 31

琴川渉捕物控 (全11回)
第4回 他叙伝を書く・作る
……………宇佐美昇三 34

庶民の暮らしは激しく変わる。昔、台所には「缶切り」があった。今は、あっても子供は使い方を知らない。物は博物館に残っても、それを使う生活感覚は伝わらない。日常生活を書き留めておかないと、やがて、もうわからなくなる。実例を入れつつ、自分史の残し方を伝えてみたい。

ニュースファイル(2017年5月)…………… 36

◇放射路
食品・流通…………… 42

ニュース&トピックス…………… 51

2016年の缶詰,びん詰,レトルト食品生産数量
…………… 55

2016年(1～12月)の缶詰,びん詰生産は312万トン(5億424万箱。実箱)で、前年対比99.7%と減少している。このうち飲料缶詰を除いた一般食料缶詰,びん詰の生産は、31.5万トン(4,489万箱)で前年対比96.1%と減少している。飲料缶詰の生産は、280万トン(4億5,935万箱)で前年対比100.1%と増加。レトルト食品の生産は、36.4万トン(5,304万箱)で前年対比100.5%と増加している。

缶詰,びん詰,レトルト食品全国販売データ
2017年5月品目別商品別金額シェア…………… 85

*缶詰びん詰レトルト食品統計特集号申し込みについて
…………… 80

=====
業 界 消 息……………19,38,83 海外ジャーナル…………… 81
缶 詰 短 信…………… 39 日本介護食品協議会コーナー…………… 84
缶 詰 輸 入 情 報…………… 44 研究所だより…………… 95
缶 詰 輸 出 情 報…………… 46 協 会 日 誌…………… 96
缶 詰 関 連 統 計 情 報…………… 48 編 集 後 記…………… 98
魚 肉 ソ ー セ ー ジ コ ー ナ ー…………… 50
=====

表紙カット (株)日本出版制作センター
レイアウト 澄田 静
表 紙 90年前の本会創立昭和2年に開催された市販缶詰開缶研究会で選出された優良推奨缶詰
(缶詰時報昭和2年第4号,第7号,第11号より抜粋)